

◆◆◆ 佐渡山 明 議員 ◆◆◆



水道のライフラインの収容、災害時の避難路の目的だと考えております。

◆◆◆ 村道整備について ◆◆◆

質 農道53号線とは恩納校南向けバス停付近から恩納クリニクなどに通じる道路であります。平成14年の村道計画、いまだ実行されておりません。現在は危なっかしい通学路、ぜひ実態調査を行っていただきたい。

答 建設課長 崎山 敦

農道53号線は、補助金の財源を確保してから整備していきたい。

◆◆◆ 県道整備、高速道路にアクセスできるインターチェンジについて ◆◆◆

質 県では総合交通体系の基本として、ハシゴ道路ネットワークの構築が必要であると宣言しています。現在あるインターチェンジの中間あたりにスマートインターを設置することにより、一般道から高速道路へ車を導くことができ、国道58号などに集中する交通渋滞の緩和にも役立ち、分散化も期待される事業でございます。そこで、高速道路にアクセスできる有効なハシゴ道路に

なると言える県道104号、スマートインターの進展を伺います。

答 建設課長 崎山 敦

104号線の沖縄自動車道にアクセスするインターチェンジの件は、高速道路株式会社へ、要請活動を実施しております。

質 現在、国道58号では朝方、安富祖交差点から瀬良垣区まで渋滞。また伊武部を起点とし、名嘉真入口まで渋滞。夕方も安富祖から県民の森を超えたあたりまで渋滞。渋滞緩和、県道104号線に導くスマートインターの必要性、村として急ぐことだと思っております。

答 建設課長 崎山 敦

104号線のインターチェンジ、非常に大切なことだと考えております。今後北部市町村会等を通して、要請を毎年継続していきたい。

質 沖縄市では沖縄南と北インターの渋滞解消や地域の利便性を図るため、平成29年に池武当インター構想をまとめ上げ、県、総合事務局に働きかけを行った。それを受けて県土建部は平成31年度、予備設計に着手し、事業化を順次進めていく。提案いたします。

す。県道104号線インター、一括交付金を活用した3町村広域連携事業として、県に提案してはいかがでしょうか。

答 村長 長浜善巳

沖縄自動車道の名護向け屋嘉インター、そして県道104号線のスマートインターの設置、今後、総合事務局、県、金武町、恩納村で早期に協議会が開けるよう要請してまいりたいと思っております。

質 インターチェンジが実現することにより、喜瀬武原から安富祖区にかけて、曲がりくねった県道104号線の直線化も進んでいくと考えられます。ご感想をお聞かせください。

答 副村長 外間 毅

特に県道104号線は、交通アクセスが悪いということで、最近では安富祖から伊武部まで交通渋滞が起こり、早期に解消しなければならぬ。改修につきましては、国と防衛、県とも調整をし、二日でも早く整備できるように要請をしております。104号線は幹線道路でありますので、早急に進めていきたいと考えております。

◆◆◆ 外間 勝嘉 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 農業振興について ◆◆◆

質 土作りのために堆肥補助の増額が必要ではないか。恩納村は15%、金武町は30%、宜野座村は25%、両町村は区からも補助金が出ております。

◆◆◆ 統合中学校について ◆◆◆

質 空き教室が5校に増えていきます。その再利用計画の案がいつから始まるのか、またできているのか。

答 学校教育課長 石川 司

児童クラブを中心にいろいろと

答 農林水産課長 佐渡山安正

今の段階では厳しいかと考えておりますが、既存の補助の見直し、各種団体でもって検討していただき積極的に支援をしてみたい。

質 恩納村地域農業振興協議会補助金が、恩納村内農業団体に公平に補助されているか。補助金の目的は。

答 農林水産課長 佐渡山安正

部会の活動、お互いの親睦の目的で補助を支出している。

質 恩納村の農業生産額が7億4千万円、北部花卉が3億8千万円、太陽の花が1億4千万円、合計で5億2千万円、両団体で約71%の数字を生み出しておりますが、補助金がありません。今後、育成費としてお願いします。

答 農林水産課長 佐渡山安正

育成補助、活動費補助について補助が交付できるよう前向きに検討していきたい。

◆◆◆ 観光業について ◆◆◆

質 大きなホテル18施設の中に、何名ぐらいの恩納村民が働いているか。

答 商工観光課長 宮平 寛

平成29年の調査の中では村内の従業員、雇用は402名であります。18ホテルの従業員の全体が2千7百30名、割合としては14.7%となっております。

◆◆◆ キャンプハンセン内の雇用について ◆◆◆

質 恩納村民、金武町民、宜野座村民はキャンプハンセンの中で何名ぐらいがお仕事をされているの

か。

答 企画課長 山城 雅人

キャンプハンセン内の駐留軍従業員雇用人数は、平成29年度の総数で605人が雇用されております。金武町が111名、宜野座村は不明、本村の雇用総数は、平成31年1月末時点で14名の雇用となっております。

質 キャンプハンセンの雇用、職場に恩納村民も多く入れるべきではないかと思いますが、村長として要請行動をしているのか。

答 村長 長浜 善巳

駐留軍従業員に限って、就職支援の要請はこれまで実施したことはありませんでした。村におきましては、これまでリゾートホテルとか、また観光施設にのみ地元優先採用ということをお願いしたところがあります。これからこの駐留軍従業員雇用につきましては、沖縄県内での雇用の場として果たす役割は大変大きいものと考えております。沖縄防衛局の関係者との意見交換の場で要請を考えていきたい。